

☆☆☆交通安全教室を終えて☆☆☆



6月29日（月）3校時に、体育館にて、交通安全教室を実施しました。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、できるだけ3密を避けた形で行いました。実際に試乗し、個々に指導していただくことができずとても残念そうでしたが、映像を見たり指導員の方々の話を聞いたりして、理解を深めることができました。交通安全教室を通して学んだことをもとに、安全に気をつけて自転車に乗るよう、学校でも指導をいたしましたので、ご家庭でも今一度、自転車の安全な乗り方並びに歩行の仕方について話し合ってください。



道路交通法の中に、ヘルメットの着用努力義務があります。これは、保護者の方が運転する自転車に幼児を同乗させる場合、または、小学生のお子さん自身が自転車を運転する場合にも、ヘルメットを着用するように努めなければならない、ということです。自転車事故には、安全不確認、一時不停止、信号無視、歩道上での歩行者との接触等が主にありますが、それらの事故によって「頭」を強打する事例が非常に多いです。「周りの子が着けていないから。」「ヘルメットをしなくても怪我をしないと思うから。」という気持ちになりがちですが、子どもたちの安全を第一に考えていただければ幸いです。

合言葉は・・・

『ブタベルサハラ』

【自転車に1人でのるための 安全点検チェックリスト】		1回目	2回目	3回目
ブレーキ	・ブレーキをかけたまま、おしても動かないか			
	・ブレーキをかけたまま、引っぱってもらっても動かないか			
タイヤ	・親指と人差し指でタイヤをつまんだとき、へこみすぎないか			
ベル	・まわりの人に聞こえるていどに音になるか			
サドル	・のったときに、足のつま先がしっかりついて、かかとが少しくぐらいか			
ハンドル	・ハンドルがまがっていないか、左右のバランスが同じかどうか			
はんしゃざい	・とれやすくなっていないか、きちんと固定されてついているか			
ライト	・ライトが点くかどうか ※点かない自転車にはのってはいけません			

※ベルは、本当にあぶないときに使います。安全運転を心がけ、なるべく使わないようにしましょう。

※はんしゃざいは、光を100メートル先まではねかえすことができます。前輪と後輪のタイヤに1つずつ、両ペダルにつけておくと、「自転車がここにいますよ」と周りに知らせることができます。

1回目は、おうちの人と一緒にやってみましょう。2回目は、おうちの人前で、自分でやってみましょう。3回目は、「自転車に1人でのるためのテスト」として、おうちの人に見てもらいましょう。おうちの人から「合格」がもらえたら、安全運転に気をつけて、学区内でのりましょう。